

## 時の記念日

桜、さつきと校庭の変わりゆく花々に、季節の移り変わりを感じます。1学期も半ば6月を迎え、そろそろ奇跡のあじさい「みらい」にもつぼみがつく頃となりました。夏かと思うような暑い日や、肌寒さを感じる雨の日、また、1日の気温差が大きい日も多く、体調管理にはくれぐれも気をつけていただきたい季節です。

さて、学校生活には様々な時間があります。学習時間や休み時間、給食や掃除など、チャイムに合わせて子どもたちは活動しています。中間休みや昼休み等の長い休み時間は、運動場で遊んでいる子どもたちも多いのですが、チャイムが鳴ると遊びをすぐにやめ、走って教室に向かう子どもたちの姿をよく見ます。学習時間と休み時間の区別ができているのは、本校の子どもたちの良さの一つです。

そんな時間に関わる記念日に「時の記念日」があります。大正9年に定められたもので、『日本書紀』にある、日本で始めて時計（「漏刻」と呼ばれる水時計）によって時が知らされたという故事にちなんで、6月10日となったそうです。今では、世界的にも時間に正確な国と認められている日本ですが、制定当時は、欧米諸国から時間の感覚に乏しい国だと見られていたこともあり「時の記念日」制定には、時間を大切にし、守るようにしてほしいという意味が込められていたそうです。

私たちが使える時間には限りがあります。その限られた時間をどのように使うかで、生活が豊かになったり、落ち着いた毎日を送ることができたりします。しかしながら、子どもたちがなかなか時間通り動いてくれず、慌ただしい時間を過ごすこともあるのではないのでしょうか。低学年の頃はまだまだ時間の概念が確立されてはいませんので「早くして」「急いで」と言われても、それがどれくらいの時間を指すのかが分からず、子どもたちにとっては叱られているとしか思えないこともあります。例えば「この曲が終わるまでに片付けよう」等、基準になる時間を示してあげることも大切です。

学校生活の中でも、活動と時間とをうまく組み合わせる経験を積みながら、子どもたちが徐々に長い時間を見通した行動がとれ、有効に時間を活用できるようにしていきたいと思います。ご家庭におきましても「時の記念日」を機に、時間の使い方や時間を守ることの大切さについて考えてみてはどうでしょうか。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 真理子

## Pepperが登場！

亀岡市内の各小学校にペッパーがやってきました。

環境学習やプログラミング学習等で活用していく予定です。

朝はあいさつをしてみんなを出迎えています。



## 「読み聞かせ放送」お世話になっています！

本年度もお話の会「ひまわり」さんにお世話になり、読み聞かせ放送を行っています。水曜日の給食時間に色々なお話を楽しんでいます。

いつもありがとうございます。

